

令和元年度 柏五小グランドデザイン

教育目標 心身ともに健やかで創造性豊かな子どもの育成

児童の実態

- 基本的な学力は身につけているが、活用する力が弱い。伝えることが苦手。
- 素直で明るい、基本的な生活習慣が身につけていない。
- 個別に支援を必要とする児童がいる。

保護者・地域の願い

- 学校教育活動の方針や活動状況を積極的に保護者に知らせてほしい
- 学力の向上に取り組んでほしい
- 不審者対策を推進してほしい
- 安全に過ごせる学校づくりを

国・県の施策

- 現行学習指導要領 改訂学習指導要領
- 千葉県教育大綱 県教育振興基本計画

めざす児童像

- 心豊かで思いやりのある子ども(徳)
- ねばり強く じょうぶな子ども(体)
- 自ら考え 学習する子ども(知)

柏市教育目標・施策

- 柏市教育振興計画
- 「学び続ける力」～「学ぶ意欲」と「学ぶ習慣」を育む

めざす児童像達成への視点～何ができるようになるか

- 元気な挨拶・返事ができる
- 相手の思いを察し、**支え合い助け合う**
- 互いのよさを発見し、**認め合う**
- 感謝の気持ちを持つ

- 目標を持ち、あきらめずに取り組む**
- 進んで体をきたえる
- 健康で規則正しい生活
- 自他の命を大切にできる

- 聞く・話す・書くの基本
- 知識・技能の習得
- 理解していることの活用と思考・判断・表現力**
- 自主的に学習に取り組む

カリキュラム・マネジメントの充実～育成を目指す児童像へせまる為の横断的・重層的取組の意識

校内研究

- 研究主題『自分の考えを持ち、表現し、深い学びができる子どもの育成』
- 多様な考えを導き出す場を工夫して設定し、学びの深まる伝え合い活動の工夫

学びづくりプロジェクト

- 主体的な学びの推進と学びの習慣化
- 学校図書館を活用した調べ学習の推進
- コミュニケーション力を高める外国語活動の充実
- 教育的ニーズに応じた個別支援の充実

カリキュラムを基盤とした学校経営の評価の視点

- 育成したい資質・能力は身に付いたのか～何が有効で、何が改善を要するのか
- どのように改善を図ればよいのか～**主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善**
- カリキュラム・マネジメントの充実～**社会に開かれた教育課程の視点からの経営評価**

柏五小学びづくりプロジェクト計画～“学ぶ意欲と学ぶ習慣”を育む

五小のめざす学び～自分の考えを持ち、表現し、深い学びができる子どもの育成

新しい時代、変化の激しい社会に、適応する力

- 1. 主体的な学びの推進と学びの習慣化
- 2. 学校図書館を活用した調べ学習の推進
- 3. 教育的ニーズに応じた個別支援の充実
- 4. 外国語活動の充実

○主体的な学びの推進と学びの習慣化

- 1. 授業改善
 - ・研究教科「算数」全学年授業研究会
- 2. 算数科の個別支援
 - ・算数少人数指導（3～6年）
 - ・放課後算数教室（4～6年）
 - ・ステップアップ学習会（2，3年）
- 3. 夏休み算数教室
- 4. 家庭学習の習慣化

○学校図書館を活用した学びづくり

- 1. 調べ学習の推進
 - ・総合の時間、社会科等の実践
- 2. 読書活動の充実
 - ・2類（歴史・伝記・地理）の活用
 - ・6類（農業・漁業・交通）の活用
- 3. 学習情報センターとしての活用促進
- 4. 読書の充実

＜五小の学びで育成を目指す資質・能力＞

- 相手の思いを察し、支え合い助け合う力
- 互いのよさを発見し、認め合う態度
- 目標を持ち、あきらめずに取り組む気持ち
- 理解していることを活用する思考力・判断力・表現力

○教育的ニーズに応じた個別支援の充実

- 1. 校内支援体制の確立
 - ・北村 T、杉本 T の巡回指導と改善
- 2. 教育支援員の配置
 - ・1，2 学年通常学級児童への個別支援
 - ・支援員 4 名による児童の通級支援
- 3. サポート教員の配置（特別支援 2 名）
 - ・1～4 学年通常学級児童への支援
- 4. 開智国際大学生の学習ボランティア

○外国語科・活動の充実

- 1. 新教育課程の先行実施
- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| 学年 | 3 学年 | 4 学年 | 5 学年 | 6 学年 |
| 実施時数 | 3 5 | 3 5 | 7 0 | 7 0 |
- 2. 専科教員による外国語科の授業
 - 3. 外国語活動支援員を中心とした外国語活動
 - 4. 授業研究会の実施（11月予定）
 - 5. ALT とのふれあいランチ
 - 6. イングリッシュデーの実施（月1日）

コミュニティスクールへ向けての基盤

- 温かい人間関係づくりと i Check の活用
- 安全・安心な学校
- 豊かな体験活動と道徳教育の充実
- 家庭・地域との連携
- I C T 活用
- 教職員研修の充実
- 働き方の改善